

被爆から80年 ～長崎から伝えたいメッセージ～

開催目的

被爆80年の節目に、戦争と核兵器廃絶について考え、共感を高める場を提供します。

唯一の被爆国である日本。今被爆者は平均85歳。

- ✓ 今後「被爆者なき時代」を迎えたとき、核や戦争のない世界を実現していくには？
- ✓ 戦争を知らない私たちがこれからできることは？

戦争体験者の話を最も近くで聞いて活動してきた林田さんが、私たちと長崎を結びます

講師紹介

林田光弘氏

(平和活動家・研究者)

長崎・浦上出身。長崎で祖父が被ばく。

現在は修学旅行生に体験を通じた平和学習を提供する、
一般社団法人ピース・エデュケーション・ラボ・ナガサキを運営。



2016年から2020年、すべての国に対し核兵器を禁止・廃絶する条約の締結を迫る「ヒバクシャ国際署名」のキャンペーンリーダーを務め、世界で1370万人もの署名を集めた。

2021年から2023年度にかけて、長崎大学核兵器廃絶研究センター特任研究員として、被爆者の実相を伝えるデジタルアーカイブと教材づくりに取り組む。最近は平和にかかわるイベントのプロデュースにも関わる。

2024年12月、日本被団協代表団の一員として、オスロで開催されたノーベル平和賞授賞式に出席した。

開催情報

日時

2025 7 / 19(土) 10:00~11:30

対象

組合員とそこご家族、ヒロシマ組合員代表派遣者

参加方法

オンライン

(リンクはお申し込み完了メールでお送りいたします)

参加申込：
7月11日(金)締切

こちらの
フォームから
お申込みください



主催

ユニオン環境・平和委員会 | 生活クラブ生活協同組合・神奈川